(5) 学会発表

演題	学会名	発表月	氏名
China-Japan Friendship	The 2nd	11月12日	寺本 明
Neurosurgical Symposium in	HandiXiadu(Harbin)		
My Life	Acadmic Forum on Brain		
	Tumors		
内視鏡下経鼻手術が有用で	第95回日本内分泌学会	6月2日	中里一郎、寺本
あった第3脳室の首座する			明、他9名
頭蓋咽頭腫の1例			
難治性機能性下垂体腺腫に	第95回日本内分泌学会	6月2日	大山健一、寺本
対する内視鏡下経鼻頭蓋底			明、他4名
手術の有用性			
Combined transorbital and	第27回日本脳腫瘍の外科	10月14日	中里一郎、寺本
endonasal approach が有用	学会		明、他5名
で			
あった再発頭蓋底髄膜種の			
一例			
経鼻内視鏡手術合併症	第27回日本脳腫瘍の外科	10月14日	田原重志、寺本
と対策	学会		明、他7名
松果体部 germinoma の一例	第26回日本臨床内分泌病	10月28日	中里一郎、寺本
	理学会		明、他7名
Long-term Outcomes of	7th East Asian Symposium	2022年3月24~26日	Kawashima Y,
Bone-Anchored Hearing	on Otology		Kitamura K,
Aids: A 20-Year Experience			Noguchi Y,
in Tokyo Medical and Dental			Tsutsumi T
University.			
当科における慢性穿孔性中	第199回日本耳鼻咽喉科学会	2022年6月25日	峯川 明、家坂
耳炎に対する最近の術式選	神奈川県地方部会学術講演		辰弥、吉川 沙耶
択について	会		花、喜多村 健、
			石田 克
国際学術誌に受諾される論	第 39 回御茶ノ水耳鼻咽喉	2022年7月2日	喜多村 健
文を書くために(続)	科・頭頸部外科研究会		
Otology & Neurotology O			
Assistant Editor として			
「私、今、めまい、したわ」。	湘南医療大学公開講座	2022年7月9日	喜多村 健
一タイトルを逆からも読ん			
でみてねー			
好酸球性副鼻腔炎に合併し	第200回日本耳鼻咽喉科学会	2022年9月10日	峯川 明、家坂
た難治性好酸球性中耳炎に	神奈川県地方部会学術講演		辰弥、喜多村
デュピルマブが著効した2	会		健、石田 克紀
症例			

演題	学会名	発表月	氏名
当科における真珠腫性中耳 炎手術症例の検討	第 32 回日本耳科学会総会学 術講演会	2022年10月19~21日	家坂 辰弥、石田 克紀、吉川 沙耶 花、峯川 明、喜 多村 健
当科における慢性穿孔性中 耳炎に対する最近の術式選 択について	第 32 回日本耳科学会総会学術講演会	2022年10月19~21日	峯川 明、家坂 辰弥、石田 克 紀、吉川 沙耶 花、喜多村 健
Endoscopic Ear Surgery: Good Indications and Problems	4th World Congress on Endoscopic Ear Surgery -Innovations in Ear Surgery and Hearing Therapeutics	2022年12月5~8日	Ishida K, Iesaka T, Yamazaki A, Minekawa A, Kitamura K
中耳結核の3例	第 40 回御茶ノ水耳鼻咽喉 科・頭頸部外科研究会	2022年12月10日	家坂辰弥, 石田克 紀、峯川明, 喜多 村健
【研究補助金等外部資金の 受け入れ状況】			
高度実践看護師育成の現状 と今後の課	第9回日本 CNS 看護学会シンポジウ	令和4年7月	川本利恵子
今回のカリキュラム改定に際して「ICT活用の基礎的能力」が必要としてねらったものは?	第 23 回日本医療情報学会看 護学術大会ワークショップ	令和4年7月	川本利恵子
激動の時代における看護系 大学教員の次世代育成	2022 年度看護学教育シンポ ジウム(千葉大学)	令和4年11月	川本利恵子
CN・CNS・特定行為研修に おける臨床薬理学教育の課 題と展望」	第 96 回日本薬理学会、第 43 回日本臨床薬理学会シンポ ジウム	令和 4 年 12 月	川本利恵子
高齢者の自己効力感とフレイルの変化との関連 -有料老人ホームとサービス付き高齢者住宅の入居者を対象に-	第 27 回日本老年看護学会学 術集会(web)	2022年6月	山田艶子、 牛田貴子、
超高齢期にある認知症患者 の葛藤の要因の一考察	第 23 回認知症ケア学会大会 (web)	2022年6月	草間貴恵、 牛田貴子、 小原良之
今、必要とされる教材として の事例の作成と活用のしか け 交流集会	日本看護学教育学会第 32 回 学術集会(web)	2022年8月	牛田貴子、 梅原里実、 飯室淳子、 中澤美弥

演題	学会名	発表月	氏名
Prevalence of Internet Addiction among Senior High School and University Students under the Emergency Declaration Due to the COVID-19 Pandemic (COVID-19 感染拡大に伴う緊急事態宣言下における高校生・大学生のインターネット依存の実態)	25th EAFONS EAST Asian Forum of Nursing Conference	令和4年4月	玉田聡史 片山典子
新型コロナウイルスの影響 に係る新人看護職のメンタ ルヘルス事業 一神奈川県における新人看 護職を対象としたメンンタ ルヘルス支援の実践報告一	第 32 回日本精神保健看護学 会 学術集会	令和4年6月	片山典子 川本利恵子 陶山克洋 大胡晴香 渡部李菜
思春期のひきこもり当事者 の精神的健康度とインター ネット使用・ひきこもる前後 の心理社会的要因の関連	第 42 回日本看護科学学会 学 術集会	令和 4 年 12 月	玉田聡史 片山典子
在宅看護方法論における異 学年合同講義による学生の 学びに対しての感じ方(第 1 報)	一般社団法人 日本看護学教育学会 第 32 回学術集会	令和4年8月	菊池有紀、塚原ゆ かり、小林紀明
在宅看護方法論における異 学年合同のグループワーク に対する学生の思い(第2報)	一般社団法人 日本看護学教育学会 第32回学術集会	令和4年8月	塚原ゆかり、菊池 有紀、小林紀明
医療系大学における新型コロナウイルス感染対策に関する学生の意識等調査(続報)	第 11 回日本公衆衛生看護学 会学術集会	令和 4 年 12 月	望月総一郎、小林 紀明、山崎真帆、 陶山克洋、倉橋悠 子
在宅での下肢創傷医療の実 態調査	日本褥瘡学会日本在宅推進 協会学術集会	2022年7月17日	真井睦子
訪問栄養食事指導の効果 科学的に検証・外来指導との 比較 ~リピメイン 400 の活 用法~	日本褥瘡学会日本在宅推進協会学術集会	2022年7月3日	藤井美樹
How Do Questions Facilitate Empathic Communication? A Case Study of Japanese Nursing Students' Confirmatory Responses to	World Academy of Nursing Science The 7th International Nursing Research Conference of WANS	2022年10月18日	本田芳香、後藤リサ

演題	学会名	発表月	氏名
Simulated Patients' Talks			
救急看護の実践・教育のファ	第24回日本救急看護学会	11月	松月みどり
ーストペンギン			
(示説発表) 看護職のための	第 37 回日本がん看護学会学	2023年2月25日	渡邉眞理、山内桂
神奈川緩和ケア研究会 高	術集会		子、鈴木由美子、
齢がん患者の意思決定支援			清水奈緒美、井上
研修の評価-紙上事例とト			智香、日塔裕子、
リガービデオを用いた研修			得みさえ、古矢尚
比較一			子、小笠原利枝、
			嶋中ますみ、横川
			史穂子、柏木夕
			香、谷島和美、小
			野礼子
(シンポジウム1)未来を拓		2023年2月25日	渡邉眞理(座長)
くがん看護の本質~これま	術集会		
での歩み、そして未来へ~			NAME OF THE ACT OF THE PARTY.
(シンポジウム)がんと口腔	一般社団法人日本がん看護	2022年9月3日	渡邉眞理(座長)
ケア	学会 地方分科会	0000 年 11 日 10 日)库油 与TE (5#5元)
神奈川県看護協会 看護・介 護実践報告会	一般社団法人神奈川県看護	2022年11月19日	渡邉眞理(講評)
競夫政報言芸 成人の在宅療養者における	協会 第 37 回	2022年6月	中村裕太,青盛真
中心静脈カテーテル関連血	第 37 回 日本環境感染学会学術集会	2022 平 6 月	紀, 渡部節子
流感染症の実態と関連要因	日本垛况您朱子云于州未云		心, 似又印却 1
に関する文献検討			
訪問看護を利用する高齢在	第 37 回	2022/6/1	野口京子,落合
宅療養者の口腔内環境の実	日本環境感染学会学術集会	, ,	亮太, 渡部
態及びその関連要因(学会長			節子
賞受賞講演)			
訪問看護を利用する高齢在	第 37 回	2022/6/1	野口京子,落合
宅療養者と家族が抱える口	日本環境感染学会学術集会		亮太, 渡部
腔ケアの困難感に関する質			節子
問紙調査			
腹膜透析関連感染症予防の	第 37 回	2022/6/1	中尾穂高,落合
ために看護師が患者・家族へ	日本環境感染学会学術集会		亮太, 青盛真紀,
指導すべき項目―デルファ			戸谷義幸, 渡
イ法による検討-			部節子

演題	学会名	発表月	氏名
国内の外国生まれ結核患者	第 22 回	2022年8月	渡邉有咲,青盛真
における治療脱落・中断の要	日本感染看護学会学術集会		紀, 渡部節子
因に関する文献レビュー			
診断後3ヵ月以内の2型糖尿	第 27 回	2022年9月	徳永友里,青盛真
病患者の食事療法および運	日本糖尿病教育・看護学会学		紀, 渡部節子
動療法に関する生活行動と	術集会		
診断 12 ヵ月後の BMI との関			
連			
避難所における感染対策の	第 24 回	2022年9月	鷲尾茜,青盛真紀,
実際に関する文献レビュー	日本災害看護学会学術集会		渡部節子
Oral care practices for older	The 25rd East Asian Forum	2023年3月	Noguchi K ,
adult patients requiring	of Nursing Scholars :		Ochiai R ,
nursing care who use visiting	EAFONS, (Japan, chiba)		Ohashi N ,
nursing services: A Delphi			Watabe S
study.			
看護職のための神奈川緩和	第 37 回日本がん看護学会	2023年2月25日, 26	渡邉眞理, 山内桂
ケア研究会 高齢がん患者の		日	子,鈴木由美子,
意思決定選移管する研修の			清水奈緒美, 井上
評価-トリガービデオを用			智香,
いてー			日塔裕子, 得みさ
			え, 古矢尚子, 小
			笠原利枝,
			嶋中ますみ, 横川
			史穂子, 柏木夕
			香, 谷島和美, 小
			野礼子
教育講演「新整備指針とがん	第 11 回日本がん相談研究会	2023年3月11日	清水奈緒美(座
相談支援センターに今求め			長)
られていること」			
訪問系サービス利用者にお	第 42 回日本看護科学学会学	2022年12月	高橋聡明, 東村
けるコミュニケーションロ	術集会		志保, 北村言, 松
ボットの長期間活用ーバイ			本勝, 仲上豪二
タルサイン測定機器連動シ			朗, 真田弘美
ステムの開発ー			
医療系大学における新型コ	第 11 回日本公衆衛生看護学	2022年12月	望月総一郎,山
ロナウイルス感染対策に関	会学術集会		崎真帆, 陶山克
する学生の意識等調査(続			洋, 倉橋悠子, 小
報)			林紀明
在宅看護方法論における異	日本看護学教育学会第 32 回	2022年8月	菊池有紀、塚原ゆ
学年合同講義による学生の	学術集会		かり、小林紀明
学びに対しての感じ方(第 1			
報)			

演題	学会名	発表月	氏名
在宅看護方法論における異 学年合同のグループワーク	日本看護学教育学会第 32 回 学術集会	2022年8月	塚原ゆかり、菊池 有紀、小林紀明
に対する学生の思い(第2報	子州未云 		有机、 7 44水195
訪問看護ステーションを利	第38回 日本環境感染学会学	6月	野口京子,落合
用する高齢在宅療養者と家	術集会		亮太, 渡部節子
族が抱える口腔ケアの困難			
感に関する質問紙調査			
訪問看護を利用する高齢在	第38回 日本環境感染学会学	6月	野口京子, 落合
宅療養者の口腔内環境の実	術集会		亮太, 渡部節子
態およびその関連要因	【学会賞:招待発表】		
Oral care practices for older	The 26th EAFONS	2023年3月	Noguchi K ,
adult patients requiring			Ochiai R ,
nursing care who use visiting			Ohashi N ,
nursing services: A Delphi			Watabe S
study.	D. M. A. M.	N. 00 01 0000	37 1 17 1 1
【採択済・発表予定】Caring	Dr. Margaret A. Newman	May 30-31, 2023	Yuko Kurahashi
partnership with nurse and	Center for Nursing Theory Inaugural Dedication and		
HEC praxis	Dialogue Event, University		
	of Tennessee Health		
	Sciences, College of Nursing		
	Memphis, Tennessee,		
【招待講演】クリーンルーム	LIP.横浜オープンイノベー	1月, 2023	倉橋悠子, 大胡晴
で治療する白血病患者のス	ションカンファレンスⅧ		香,斉藤琴子
トレスは音楽で軽減する	~クロスイノベーション (異		
か?オープンイノベーショ	分野融合)による 新たな事		
ンから始まった産学連携の	業機会の創出を目指して~		
プロセス			
日本がん看護学会 地方分	日本がん看護学会 地方分	2022年9月	渡邉眞理 清水
科会研修会「がんと口腔ケ	科会		奈緒美 岡多恵
ア」			三堀いずみ
高齢者の自己効力感とフレ	日本老年看護学会	2022.6 月	○山田艶子
イルの変化との関連			
有料老人ホームとサービス			牛田貴子
付き高齢者住宅の入居者を			
対象に	2002 左座ととと、どこ、一	2022 年 7 日	连如木艺
休退学者の減少につながる	2022 年度ふれあいグループ	2022年6月	渡部李菜
教育への取り組み〜初年次におけるメンタルヘルス支	専門部会研修会(湘南医療大 学) (抄録)		
ほの重要性~	学) (抄録) 		
吸り里女は「			

職地実習における看護学生 2022 年度 ふれあいグルー 7 次原・教育研究会 (投験・ 2022 年9月	演題	学会名	発表月	氏名
(世報) マージョンを使いこなす 安保	臨地実習における看護学生	2022 年度 ふれあいグルー	2023年2月	渡部李菜
一般社団法人日本行動分析 学会第 40 回年次大会	のストレス対処能力(SOC)	プ医療・教育研究会		
使いこなす 身体運動の法則性と行動分析学 日常生活への左手等操作の 介入 バーキンソン病者の通いの 場における情報交換の満足 度と時間および人数設定と の関係一活動後アンケート を通して グルンTulo からみる歩行時転 例の初期接地部位別の特徴 モーションキャブチャーを 用いた近位筈のずれの評価 7週間に亘る前足部接地走 行を用いた衝撃吸収作用の 変化 Comparison of body movements between low-birth-weight infants and normal infants movements between low-birth-weight infants and normal infants and normal infants コ間にと動きの関連 地域一般病院での産後ボディケア教室開設への取り組 みと課題 一般病院での産後ボディケア教室開設への取り組 カと課題 一般病院での産後ボディケア教室開設への取り組 カと課題 一般病院での産後ボディケア教室開設への取り組 カと課題 運幣 第 40 回年次大会 第 9月	に関する文献レビュー	(抄録)		
身体運動の法則性と行動分析学 日常生活への左手箸操作の介入	行動リハビリテーションを	一般社団法人日本行動分析	2022年9月	大森圭貢
新学 日常生活への左手箸操作の	使いこなす	学会第 40 回年次大会		
日常生活への左手箸操作の 介入	身体運動の法則性と行動分			
 介入 バーキンソン病者の通いの場における情報交換の満足度と時間および人数設定との関係一活動後アンケートを通して一 YouTube からみる歩行時転 例の初期接地部位別の特徴 理学療法士学会,東京 モーションキャプチャーを用いた近位箸のずれの評価 モーションキャプチャーを用いた通管の引起を地走る近位箸のずれの評価 できるまる近位箸のがれの評価 できるが表学術集会 7週間に亘る前足部接地走 6回日本リハビリテーション 11月 斉藤琴子、丁子雄希、斉藤琴子、丁子雄希、斉藤琴子のおれの評価 できるが重要吸収作用の変化 Comparison of body movements between low-birth-weight infants and normal infants Lを新生児の自発運動の計量化を新生児の自発運動の計量化と動きの関連 地域一般病院での産後ボディケア教室開設への取り組みと課題	析学			
## 1				
場における情報交換の満足度と時間および人数設定との関係一活動後アンケートを通して一 YouTube からみる歩行時転倒の初期接地部位別の特徴	介入			
度と時間および人数設定との関係一活動後アンケートを通して一 大森 圭貫, 葉 喜崇 YouTube からみる歩行時転 倒の初期接地部位別の特徴 理学療法士学会,東京 第 41 回関東甲信越ブロック 理学療法・ 長州好美、星知輝、栗澤高輝 志, 櫻井好美、星知輝、栗澤高輝 老ーションキャブチャーを 用いた近位箸のずれの評価 子ーションキャブチャーを 目いた近位箸のずれの評価 できる状を学術集会 哲心を用いた働撃吸収作用の 変化 医学会秋季学術集会 「世界の中では、大藤・大郎、黒澤千 春、有藤琴子、丁子雄 大神を用いた衝撃吸収作用の 変化 「大浦東祐、黒澤千 春、斉藤琴子、丁子雄 医学会秋季学術集会 「大浦東祐、黒澤千 春、斉藤琴子、正子雄 春、 「大浦東祐、黒澤千 春、大神野子、 「大神東祐、黒澤千 春、大神野子、 「大神東本子、 「大神東本子、 「大神東本子、 「大神東本子、 「大神東本子、 」」 「大神東本子、 「大神東本子、 」」 「大神大会」 「大神野美、 」」 「大神野素、 」」 「大神大神、 」」 「大神野素、 」」 「大神、 」、 「大神、		第 56 回日本作業療法学会学	2022年9月	吉田円香、石山
図係		会		
を通して一 YouTube からみる歩行時転				
YouTube からみる歩行時転 倒の初期接地部位別の特徴第 41 回関東甲信越ブロック 理学療法士学会、東京2022 年 9 月川岸亮、森尾裕 志、櫻井好美、星 	の関係一活動後アンケート			喜崇
倒の初期接地部位別の特徴理学療法士学会,東京志,櫻井好美,星知輝,栗澤高輝モーションキャプチャーを用いた近位箸のずれの評価第56 回日本作業療法学会 子9月丁子雄希、斉藤琴子モーションキャプチャーを用いた角箸による近位箸のずれの評価医学会秋季学術集会 者11月斉藤琴子、丁子雄 者7週間に亘る前足部接地走行を用いた衝撃吸収作用の変化医学会秋季学術集会 長場, 斉藤琴子、Comparison of body movements between low-birth-weight infants and normal infants6 t h Korea China Japan Nursing Conference11月大浦康祐、黒澤千寿。 斉藤琴子、日電センサと画像解析を併用した新生児の自発運動の計量化と動きの関連地域一般病院での産後ボディケア教室開設への取り組みと課題第 42 回日本看護科学学会学 作力・ 本達成のより、表示とより、	を通して一			
モーションキャブチャーを用いた近位箸のずれの評価 第 56 回日本作業療法学会 9月 丁子雄希、斉藤琴子、丁子雄 元ションキャブチャーを 6 回日本リハビリテーション 11月 斉藤琴子、丁子雄 元を開いた角箸による近位箸の 方れの評価 1月			2022年9月	
田いた近位箸のずれの評価	倒の初期接地部位別の特徴	理学療法士学会, 東京		
用いた近位箸のずれの評価 子 モーションキャプチャーを 用いた角箸による近位箸の ずれの評価 6 回日本リハビリテーション 医学会秋季学術集会 11 月 斉藤琴子、丁子雄 希 7週間に亘る前足部接地走 行を用いた衝撃吸収作用の 変化 6 回日本リハビリテーション 医学会秋季学術集会 11 月 大浦康祐、黒澤千 尋、斉藤琴子、 変化 医学会秋季学術集会 場本学院等子、 Comparison of body novements between low-birth-weight infants and normal infants 6 t h Korea China Japan Nursing Conference 11 月 Keiko shimada, Kotoko saitou, kaoru yachi, Kaoru tsurumi, Tetsu nemoto 圧電センサと画像解析を併 用した新生児の自発運動の 計量化と動きの関連 第 42 回日本看護科学学会学 術大会 12 月 斉藤琴子、島田啓 子、島田啓 子、島田啓 子、島田啓 子、シスズルス理学療法研 タと課題 地域一般病院での産後ボデ みと課題 第 8 回日本ウィメンズヘル ス・メンズヘルス理学療法研 会学術大会 2023 年 11 月 白井有紀 櫻井好美 一般演題「口演3 神経系 2」第 39 回神奈川県理学療法士 学会 2023 年 2 月 5 日 学会 大村優慈(座長) 一大村優慈(座長) 通所リハビリテーション利 用者における屋外歩行自立 第 9回日本地域理学療法学会 学術大会 2022 年 12 月 3 日 - 4 日 極口明伸,大村 優慈 樋口明伸,大村 優慈				知輝, 栗澤高輝
 モーションキャブチャーを 用いた角箸による近位箸の 医学会秋季学術集会 ブれの評価 7週間に亘る前足部接地走 行を用いた衝撃吸収作用の 医学会秋季学術集会 6回日本リハビリテーション 11月 大浦康祐、黒澤千 尋、斉藤琴子、変化 Comparison of body movements between low-birth-weight infants and normal infants 上電センサと画像解析を併 第 42 回日本看護科学学会学 術士と動きの関連 地域一般病院での産後ボデ 介 大力教室開設への取り組 ス・メンズへルス理学療法研 次と課題 一般演題「口演 3 神経系 2」 第 39 回日本地域理学療法学会 2023 年 2月 5 日 大村優慈(座長)学会 通所リハビリテーション利 第 9 回日本地域理学療法学会 2022 年 12 月 3 日 4 日 樋口明伸,大村 優慈 		第 56 回日本作業療法学会	9月	
用いた角箸による近位箸の ずれの評価	用いた近位箸のずれの評価			子
ずれの評価7週間に亘る前足部接地走行を用いた衝撃吸収作用の変化6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会11月大浦康祐、黒澤千尋、斉藤琴子、変化Comparison of body movements between low-birth-weight infants and normal infants6 t h Korea China Japan Nursing Conference11月Keiko shimada, Kotoko saitou, kaoru yachi, Kaoru tsurumi, Tetsu nemoto匠電センサと画像解析を併用した新生児の自発運動の計量化と動きの関連第 42 回日本看護科学学会学術大会12月斉藤琴子、島田啓子、島田啓子、島田啓子、島田啓子、教室開設への取り組みと課題地域一般病院での産後ボディケア教室開設への取り組みと課題ス・メンズへルス理学療法研究会学術大会セリナーション利寿の日本地域理学療法士会学療法学会の表別の日本地域理学療法学会の表別の日本・大村優慈の歴史を表別の日本・大村優美術大会の表別の日本・大村優美の歴史を表別の日本・大村優美の歴史を表別の日本・大村優美の歴史を表別の日本・大村優美の歴史を表別の日本・大村優美の歴史を表別の日本・大村優美の歴史を表別の日本・大村優美の歴史を表別の日本・大村優美の歴史を表別の日本・大村優美の歴史を表別の日本・大村優美の展別の日本・大村優美の展別の日本・大村優美の展別の日本・大村優美の展別の日本・大村優美の展別の日本・大村優美の展別の日本・大村優美の展別の日本・大村優美の展別の日本・大村優美の表別の日本・大村優美の展別の日本・大村優美の表別の日本・大村優美の表別の日本・大村優美の表別の日本・大村優美の展別の日本・大村優美の展別の日本・大村優美の表別の日本・大村優美の表別の日本・大村優美の展別の日本・大村優美の展別の日本・大村優美の展別の日本・大村優美の展別の日本・大村優美の展別の日本・大村優美の展別の日本・大村優美の展別の日本・大村優美の展別の日本・大村優美の表別の日本・大村優美の表別の日本・大村優別の日本・大村優別の日本・大村優別の日本・大村優別の日本・大村優別の日本・大村優別の日本・大村優別の日本・大村優別の日本・大村優別の日本・大村優別の日本・大村の日本・大村優別の日本・大村の日本・大村の日本・大村の日本・大村の日本・大村の日本・大村の子本・大村の子本・大村の日本・大村	モーションキャプチャーを	6 回日本リハビリテーション	11月	斉藤琴子、丁子雄
7週間に亘る前足部接地走 行を用いた衝撃吸収作用の 変化6回日本リハビリテーション 医学会秋季学術集会11月大浦康祐、黒澤千 尋、斉藤琴子、Comparison ow-birth-weight and normal infants6 t h Korea China Japan Nursing Conference11月Keiko shimada, Kotoko saitou, kaoru yachi, Kaoru tsurumi, Tetsu nemoto圧電センサと画像解析を併 用した新生児の自発運動の 計量化と動きの関連第 42 回日本看護科学学会学 術大会12月斉藤琴子、島田啓 子地域一般病院での産後ボデ イケア教室開設への取り組 みと課題第 8 回日本ウィメンズへル ス・メンズへルス理学療法研 会学術大会2023 年 11 月白井有紀 櫻井好美一般演題「口演 3 神経系 2」 学会第 39 回神奈川県理学療法士 学会2023 年 2 月 5 日 学会大村優慈 (座長) 大村優慈 (座長)通所リハビリテーション利 用者における屋外歩行自立第 9 回日本地域理学療法学会 学術大会2022 年 12 月 3 日 - 4 日 優慈		医学会秋季学術集会		希
できた。				
変化 Comparison of body movements between low-birth-weight infants and normal infants 6 t h Korea China Japan Nursing Conference 11 月 Keiko shimada, Kotoko saitou, kaoru yachi, kaoru yachi, Kaoru tsurumi, Tetsu nemoto 圧電センサと画像解析を併用した新生児の自発運動の計量化と動きの関連 第 42 回日本看護科学学会学 術大会 12 月 斉藤琴子、島田啓子、島田啓子、島田啓子、公文へル 学者法研究会学術大会 2023 年 11 月 白井有紀 櫻井好美 を会学術大会 一般演題「口演3 神経系2」 第 39 回神奈川県理学療法士 学会 2023 年 2 月 5 日 大村優慈(座長)学会 通所リハビリテーション利用者における屋外歩行自立 第 9 回日本地域理学療法学会 学術大会 2022 年 12 月 3 日 -4 日 樋口明伸,大村優慈		6 回日本リハビリテーション	11月	
Comparison of body movements between low-birth-weight infants and normal infants 6 t h Korea China Japan Nursing Conference 11月 Keiko shimada, Kotoko saitou, kaoru yachi, kaoru yachi, Kaoru tsurumi, Tetsu nemoto 圧電センサと画像解析を併 用した新生児の自発運動の計量化と動きの関連 第 42 回日本看護科学学会学		医学会秋季学術集会		尋、斉藤琴子、
movements between low-birth-weight infants Nursing Conference Kotoko saitou, kaoru yachi, Kaoru tsurumi, Tetsu nemoto 正電センサと画像解析を併用した新生児の自発運動の計量化と動きの関連 第 42 回日本看護科学学会学 術大会 12 月 斉藤琴子、島田啓子、島田啓子、台野藤子、島田啓子、大村優慈(座長) 学会 地域一般病院での産後ボディケア教室開設への取り組みと課題 第 8 回日本ウィメンズへルス理学療法研究会学術大会 2023 年 11 月 白井有紀 櫻井好美 クス・メンズヘルス理学療法研究会学術大会 一般演題「口演 3 神経系 2」第 39 回神奈川県理学療法士学会 学会 第 39 回神奈川県理学療法士学会 2023 年 2 月 5 日 伊会 大村優慈(座長) 伊会 通所リハビリテーション利用者における屋外歩行自立 第 9 回日本地域理学療法学会 2022 年 12 月 3 日 - 4 日 優慈 樋口明伸、大村優慈				
low-birth-weight and normal infantsinfants and normal infantskaoru yachi, Kaoru tsurumi, Tetsu nemoto圧電センサと画像解析を併 用した新生児の自発運動の 計量化と動きの関連第 42 回日本看護科学学会学 術大会12 月 子斉藤琴子、島田啓 子地域一般病院での産後ボデ イケア教室開設への取り組 みと課題第 8 回日本ウィメンズへル ス・メンズへルス理学療法研 究会学術大会2023 年 11 月 櫻井好美白井有紀 櫻井好美一般演題「口演 3 神経系 2」 学会第 39 回神奈川県理学療法士 学会2023 年 2 月 5 日 学会大村優慈 (座長) 優慈通所リハビリテーション利 用者における屋外歩行自立第 9 回日本地域理学療法学会 学術大会2022 年 12 月 3 日 - 4 日 優慈樋口明伸, 大村 優慈	,		11 月	
and normal infantsKaoru tsurumi, Tetsu nemoto圧電センサと画像解析を併 用した新生児の自発運動の 計量化と動きの関連第 42 回日本看護科学学会学 術大会12 月 子 ・ <td></td> <td>Nursing Conference</td> <td></td> <td>Kotoko saitou,</td>		Nursing Conference		Kotoko saitou,
圧電センサと画像解析を併 用した新生児の自発運動の 計量化と動きの関連第 42 回日本看護科学学会学 術大会12 月 				_
圧電センサと画像解析を併 用した新生児の自発運動の 計量化と動きの関連第 42 回日本看護科学学会学 術大会12 月 子斉藤琴子、島田啓 子地域一般病院での産後ボデ イケア教室開設への取り組 みと課題第 8 回日本ウィメンズヘル ス・メンズヘルス理学療法研 究会学術大会2023 年 11 月 櫻井好美 完会学術大会白井有紀 櫻井好美 完会学術大会一般演題「口演 3 神経系 2」 通所リハビリテーション利 用者における屋外歩行自立第 39 回神奈川県理学療法士 学会2023 年 2 月 5 日 学会大村優慈(座長) 優慈	and normal infants			Kaoru tsurumi,
用した新生児の自発運動の 計量化と動きの関連術大会子地域一般病院での産後ボデ イケア教室開設への取り組 みと課題第 8 回日本ウィメンズヘル ス・メンズヘルス理学療法研 究会学術大会2023 年 11 月 櫻井好美白井有紀 櫻井好美一般演題「口演 3 神経系 2」 学会第 39 回神奈川県理学療法士 学会2023 年 2 月 5 日 学会大村優慈 (座長) 一般高記「ロップラーション利 第 9回日本地域理学療法学会 学術大会2022 年 12 月 3 日 - 4 日 優慈				
計量化と動きの関連111212222222222222222222222			12 月	
地域一般病院での産後ボディケア教室開設への取り組みと課題 第8回日本ウィメンズへルフ理学療法研究会学術大会 2023年11月 白井有紀標井好美 みと課題 究会学術大会 大村優慈(座長)学会 通所リハビリテーション利用者における屋外歩行自立 第9回日本地域理学療法学会学術大会 2022年12月3日-4日 優惠		術大会 		子
イケア教室開設への取り組 みと課題 ス・メンズヘルス理学療法研 完会学術大会 櫻井好美 完会学術大会 一般演題「口演3 神経系2」 学会 第 39 回神奈川県理学療法士 学会 2023 年 2 月 5 日 学会 大村優慈(座長) 世界 通所リハビリテーション利 用者における屋外歩行自立 第 9回日本地域理学療法学会 学術大会 2022 年 12 月 3 日 - 4 日 優慈 樋口明伸,大村 優慈			, _	
みと課題究会学術大会大村優慈 (座長)一般演題「口演 3 神経系 2」第 39 回神奈川県理学療法士 学会2023 年 2 月 5 日 学会大村優慈 (座長)通所リハビリテーション利 用者における屋外歩行自立第 9 回日本地域理学療法学会 学術大会2022 年 12 月 3 日 - 4 日 優慈樋口明伸, 大村 優慈			2023 年 11 月	
一般演題「口演 3 神経系 2」第 39 回神奈川県理学療法士 学会2023 年 2 月 5 日 学会大村優慈(座長)通所リハビリテーション利 用者における屋外歩行自立第 9 回日本地域理学療法学会 学術大会2022 年 12 月 3 日 - 4 日 優慈樋口明伸,大村 優慈		_ , ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		櫻井好美
学会学会個口明伸,大村通所リハビリテーション利第9回日本地域理学療法学会2022年12月3日-4日樋口明伸,大村用者における屋外歩行自立学術大会優慈			0000 1- 17 - 11	I I I I I I I I I I I I I I I I I I I
用者における屋外歩行自立 学術大会 優慈	一般演題 口演 3 神経系 2] 		2023 年 2 月 5 日	大村優慈(座長)
用者における屋外歩行自立 学術大会 優慈	通所リハビリテーション利	第9回日本地域理学療法学会	2022年12月3日-4日	樋口明伸, 大村
- 14-5 / - 1- 1 / 4	を判定するための 30 秒椅子			

演題	学会名	発表月	氏名
立ち上がりテストの基準値			
	第9回日本地域理学療法学会	2022年12月3日-4日	<u></u> 脇島克介, 大村
連続起立回数と,歩行耐久	学術大会		優慈, 小笠原尚
性,バランス,日常生活活動			和
との関係			
一般演題 7	第 11 回日本支援工学理学療	2022年12月3日-4日	大村優慈(座長)
	法学会学術大会		
教育講演 高次脳機能障害,	第 20 回日本神経理学療法学	2022年10月15日-16	大村優慈
高次脳機能障害に関連する	会学術大会	日	
脳領域の画像形態			
被殻出血と視床出血におけ	第 20 回日本神経理学療法学	2022年10月15日-16	大村優慈,樋口
る血腫の拡大方向と皮質脊	会学術大会 	日	明伸,酒向正春
髄路損傷の関係 へ業者人保健抑制におけて	第 33 回全国介護老人保健施	2022 年 9 月 22 日-23	小 体 百 丛 和 一 十
介護老人保健施設における ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	第 55 回至国外设名人保健旭 	日	小笠原尚和,大村優慈,原田敬
み:筋肉量および筋力向上に	以 八云	Ц	悟,原田美友紀
向けたプログラムの効果検			旧,从山天久心
証			
歩行練習による疲労が半側	第1回先端技術を活かした効	2022年9月18日	大村優慈,岡
空間無視を呈した脳出血症	果的な理学療法を考えるフ		徳之, 安田和弘,
例の無視範囲に与える影響	ォーラム		平山美里,新山
- バーチャルリアリティ装			真由, 酒向正春
置を用いた頚部固定条件と			
非固定条件での検討-			
運動負荷により視空間無視	第 56 回日本作業療法学会	2022 年 9 月 16 日-18	岡 徳之,安田
範囲が拡大した半側空間無		日	和弘,大村優慈,
根を呈した症例-没入型バ			平山美里,新山
ーチャルリアリティ装置を			真由,酒向正春
用いた検討- 理学療法に役立つ脳画像の	第 4 同土匠应理学校注 1. 久华	2022年7月2日	土井/百兹
連子療法に役立り脳画像の 見方	第4回大阪府理学療法士会生 涯学習センター生涯学習研	2022年7月2日	大村優慈
元月	修集会		
新型コロナウイルス感染症	第 59 回日本リハビリテーシ	2022 年 6 月 23 日-25	大村優慈, 酒向
流行期での介護老人保健施	ョン医学会学術集会	日	正春,松本 怜,
設入所後 2 週間隔離期間に			小笠原尚和
おける時間の見当識への介			
入			
COVID-19 クラスターの発	第 59 回日本リハビリテーシ	2022 年 6 月 23 日-25	グラハム亮子,
生が回復期リハビリテーシ	ョン医学会学術集会	日	大村優慈, 二瓶
ョン病棟入院患者の摂食嚥			太志, 酒向正春

演題	学会名	発表月	氏名
下機能に与える影響			
	第 59 回日本リハビリテーシ	2022 年 6 月 23 日-25	菅原沙紀, 大村
車椅子使用者のトイレ動作	ョン医学会学術集会	日	優慈,小笠原尚
自立に要するバランス機能			和
と認知機能			
介護老人保健施設入所者に	第 59 回日本リハビリテーシ	2022 年 6 月 23 日-25	小笠原尚和,大
対する筋肉量および筋力向	ョン医学会学術集会	日	村優慈,酒向正
上に向けた貯筋プログラム			春,原田敬悟,原
の取り組み			田美友紀
回復期リハビリテーション	第 59 回日本リハビリテーシ	2022 年 6 月 23 日-25	樋口明伸, 大村
病棟退院時の 30 秒椅子立ち	ョン医学会学術集会	日	優慈, 酒向正春
上がりテストと歩行自立の			
関係			
回復期リハビリテーション	第 59 回日本リハビリテーシ	2022 年 6 月 23 日-25	二瓶太志,大村
病棟入院患者における	ョン医学会学術集会	日	優慈, 酒向正春
COVID-19 クラスター発生			
後の ADL の変化とその関連			
因子	Mr Fo Fig. 1. V AV =	0000 = 4 = 00 = 05	ロ
回復期リハビリテーション	第 59 回日本リハビリテーシ	2022 年 6 月 23 日-25	岸下亜希子,間
病棟での COVID-19 クラス	ョン医学会学術集会	日	藤大輔,大村優
ター発生によるセラピスト の職場満足度の推移			慈,二瓶太志,酒 向正春
一般演題 10 (口述)	第9回日本地域理学療法学会	2022年12月	下田栄次(座長)
双供超10(日建)	学術大会	2022 4 12 /]	山水久(座及)
能動的な歩行速度調整に関	第 27 回日本基礎理学療法学	10 月	小久江 智耶, 竹
わる運動学的要因	会学術大会		中 悠真,松江
			優河, 黒澤 千尋,
			土田 将之, 菅原
			憲一
司法作業療法の経緯と今後	日本司法作業療法学会(記念	2022.1	鶴見隆彦
	研修会)		
手指関節用ピストンデバイ	日本機械学会ロボティク	2022年6月	水野蒼麻, 森本
ス PDFin の健常者における	ス・メカトロニクス講演会		舜,森田良文,田
安全性と有用性の検証			邉 浩文
足関節の他動的底背屈運動	第 61 回日本生体医工学会大	2022年6月	水野蒼麻,森本
デバイスによる関節可動域	会		舜,森田良文,田
の改善	然 01 ロロナルマンドラッパ	0000 5 0 0	邉浩文 古世帝 五与彰
手指伸筋促通トレーニング	第 21 回日本生活支援工学会	2022年8月	中村愛, 石垣彰
デバイス iPARKO による た生。の色帯 k 飲活動の問	大会論文集, pp.222-223		太,森田良文,田
指先への負荷と筋活動の関			邉浩文

演題	学会名	発表月	氏名
係			
手指伸筋促通トレーニング	電気・電子・情報関係学会東	2022年8月	横山玲香, 中村
デバイス iPARKO の固定装	海支部連合大会	2022 - 071	愛,森田良文,田
具の改良と健常者による有	N/A CEI/VA		追浩文
効性検証			
手指伸筋促通トレーニング	第 65 回自動制御連合講演会	2022年11月	中村愛, 横山玲
デバイス iPARKO の脳卒中			香,森田良文,飯
片麻痺者によるトレーニン			尾龍士,田邉浩
グ中の姿勢と筋活動量に関			文, Igor Zubrycki
する考察			
新型コロナウィルス感染症	第 56 回日本作業療法学会	2022年9月	鈴木雄介
禍における評価実習の学内			
代替実習の取り組み			
高次脳機能障害者自立生活	第 46 回日本高次脳機能障害	2022年12月	青木明子, 野々垣
アシスタント事業への相談	学術総会		睦美,鈴木雄介
からみえた課題			
認知症の人の視点に立った	第 23 回日本認知症ケア学会	2022年6月	池田保、田島明子
社会参加に関する文献研究			
男性独居高齢者の被援助志	第 55 回日本作業療法学会	2022年9月	白木望、田島明子
向性が日常的な作業の意			
味・機能・形態に与える影響			
についての質的研究		0000 5 0 0	
興味の再生成に関わる要因	第 55 回日本作業療法学会	2022 年 9 月	田島明子、山田孝
の質的研究 一障害のある当事者の視点			
からの「障害受容」理論の構			
からの「障害文谷」 埋舗の構 築に向けて一			
がん患者手記における「歩	第 46 回日本死の臨床研究会	2023年11月	添田遼、田島明子
く」ことの意味についての質	年次大会	2025 - 11/1	你四座(四周:711
的研究			
慢性期の近位優位型脳卒中	第 44 回全国デイ・ケア研究	2022年7月	多保田莉歩
後上肢麻痺に対して低頻度	大会 (奈良)		増田雄亮
の課題指向型訓練と			沢田宏美
Transfer Package を実施した			松永玄
一事例			十見恭平
			近藤国嗣
作業療法士のための新しい	第56回日本作業療法学会(京	2022年9月	増田雄亮
Evidence-Based Practice	都)		八重田淳
(EBP) 自己評価尺度の開発			會田玉美
と信頼性・妥当性の検討			

演題	学会名	発表月	氏名
業療法士のためのエビデン	日本リハビリテーション連	2023年3月	増田雄亮
スに基づく実践 (EBP) 自己	携科学学会第 24 回大会(目		八重田淳
評価尺度の開発と調査結果	白大学)		會田玉美
作業に根ざした実践の認識	作業行動学会	2022年6月	新泉一美
調査			
作業療法学生の非意識的な	第 56 回日本作業療法学会	2022年9月	黒川喬介,板倉麻
領野に潜在している認知症	学術集会		紀,久保田智洋,神
患者に対する認知			山真美,○岡本絵
			里加
わが国における薬物乱用の	第 13 回日本安全性薬理研究	2022年2月5日	鈴木 勉
現状	会		
大学における緩和医療薬学	第 15 回日本緩和医療薬学会	2022年5月15日	鈴木 勉、加藤裕
教育の現状と今後の展望	年会		久、加賀谷肇
薬物乱用に関する最近の話	第 59 回全国薬事指導協議会	2022年10月21日	鈴木 勉
題			
新たな鎮痛薬の可能性	第 20 回神奈川痛みの研究会	2022年10月29日	鈴木 勉
Asn 残基の脱アミド化にお	第 66 回日本薬学会関東支部	令和4年9月17日	加藤紘一、市丸
ける C 末端側の Gly 残基と	大会 (横浜)		嘉、仲吉朝希、小
主鎖構造の影響			田彰史、石川吉伸
Asn-Gly 配列および Asn-Ile	第 50 回構造活性相関シンポ	令和4年11月10日	加藤紘一、仲吉朝
配列における Asn 残基脱ア	ジウム (名古屋・オンライン)		希、栗本英治、小
ミド化の比較			田彰史、石川吉伸
γ S-crystallin におけるアス	日本薬学会第 143 年会	令和5年3月26日	加藤紘一、仲吉朝
パラギン残基の脱アミド化			希、栗本英治、小
が構造および凝集に及ぼす			田彰史、石川吉伸
影響			
クローディン-1 を介したバ		2022.07.09	照屋 達己、吉野
イオ医薬品の経皮吸収促進	総会・大会 (名古屋)		雄太、加藤由夏、
法の開発.			石川 吉伸、遠藤
			智史、五十里 彰
チーム医療の実践に向けた	第7回日本薬学教育学会大	2022 年 8 月	寺島朝子、佐野和
低学年向けチュートリアル	会		美、加藤裕久、定
演習の構築			本清美、塩田清
			二、若山恵、
			古屋博行、山崎泰
			広、市丸嘉、加藤
			紘一、進藤綾大、
			須藤遥、殿
			山泰弘、石橋芳
			雄、加賀谷肇、鈴
			木勉

演題	学会名	発表月	氏名
Trichosporon asahii の高接	第 66 回日本医真菌学会総	2022年10月	市川智恵,池田
着コロニー形態株に発現す	会・学術集会 2022 年 10 月		玲子, 石橋芳雄
る分子			
吃逆に対する柿蔕湯の効果	第15回日本緩和医療薬学	2022年5月	野澤(石井)玲子、
ー柿蔕エキスの抗けいれん	会		相沢健太、菅野
作用の検討一	年会		智、荒井進、稲葉
			裕、
		0000 = 0 =	加賀谷肇
[シンポジウム3]ファーマ	日本病院薬剤師会関東ブロ	2022 年 8 月	加賀谷肇
シーマネジメント往古来今	ック		
・ファーマシーマネジメント	第52回学術大会		
事始め	日本薬学会第 143 年会	2022年2月	佐野 和美、小野
2 次元培養細胞を用いた EGFR-TKI による皮膚障害	口平栗子芸弟 143 平芸 	2023年3月	塚 真理、寺島 朝
発症メカニズムの検討			子、加藤 裕久、
光型バガーバムの機能			加賀谷肇
チーム医療の実践に向けた	 第7回日本薬学教育学会大会	2022年8月	寺島朝子、佐野和
低学年向けチュートリアル		2022 073	美、加藤裕久、定
演習の構築			本清美、塩田清
			二、若山恵、古屋
			博行、山崎泰広、
			市丸嘉、加藤紘
			一、進藤綾大、須
			藤遥、殿山泰弘、
			石橋芳雄、加賀谷
			肇、鈴木勉
2 次元培養細胞を用いた	日本薬学会 143 年会	2023年3月	佐野 和美、小野
EGFR-TKI による皮膚障害			塚 真理、寺島 朝
発症メカニズムの検討			子、加藤 裕久、
*** **** *** ** ** ** ** ** ** ** ** **		0000 5 0 5	加賀谷肇
薬学部初年度教育に必要な	日本薬学会 143 年会	2023年3月	定本清美、中楯
要素 一学生のニーズと教員の対			奨、市丸 嘉、加 賀谷 肇、片川 和
一字生のコースと教員の別			明、加藤 紘一、
<i>γ</i> υ			加藤裕久、佐野
			和美、須藤遥、
			殿山 泰弘、石橋
			芳雄、鈴木 勉
教育講演 12:肺炎球菌の保	第70回日本化学療法学会	2022年6月4日	木村聡一郎
菌を考える	総会		

演題	学会名	発表月	氏名
ゲンタマイシンの骨形成阻 害作用の解析と阻害緩和薬	第 45 回日本骨・関節感染症 学会	2022年7月9日	奥山興希,木村 聡一郎,辻健太
としての IGF-1 の有効性			郎,舘田一博,高橋寛
肺炎球菌性肺炎における疾 患感受性遺伝子の同定と病	第 34 回微生物シンポジウム	2022年8月31日	進藤綾大,梶原 千晶,舘田一博,
態増悪機構の解明			木村聡一郎
バンコマイシンの骨形成阻	第 37 回日本整形外科学会基	2022年10月13日	辻健太郎, 木村
害を緩和するテリパラチド	礎学術集会		聡一郎,飯田泰
の追加検討			明,高松諒,福武
			勝典, 奥山興希, 舘田一博, 高橋
			寛
ゲンタマイシンの骨芽細胞	第 37 回日本整形外科学会基	2022年10月13日	奥山興希, 木村
への細胞障害性とその緩和	礎学術集会		聡一郎, 辻健太
薬としての IGF-1 の有効性 の検討			郎,舘田一博,高 橋寛
Restorative Effect Of Igf-1	The ORS 2023 Annual	2023年2月11日	Okuyama K,
On Gentamicin-induced	Meeting		Kimura S, Tsuji
Cytotoxicity Of Osteoblasts			K, Tateda K,
			Takahashi H
「核内受容体に作用する薬	第 50 回構造活性相関シンポ	2022/11/10-11	栗原正明
物分子の創製」	ジウム		
QSAR による危険ドラッグ	招待講演 第 50 回構造活性相関シンポ	2022/11/10-11	荒井裕美子, 湯山
のインシリコ活性予測	ジウム	2022/11/10 11	円晴, 市丸嘉, 佐
			藤忠章, 栗原正明
Synthesis of dicationic	第 59 回ペプチド討論会	2022/10/26-28	Shun-suke
cytosine derivative for			Moriya , Misaki
peptide nucleic acid			Yonezu , Yuzu
			Kondo , Yosuke Demizu ,
			Masaaki
			Kurihara ,
			Atsushi Kittaka ,
			Toru Sugiyama

演題	学会名	発表月	氏名
Synthesis of peptide nucleic acid possessing dicationic cytosine derivative	第 49 回国際核酸化学シンポジウム	2022/11/2-4	Toru Sugiyama, Shun-suke Moriya, Misaki Yonezu, Yuzu Kondo, Yosuke Demizu, Masaaki Kurihara, Atsushi Kittaka
大環状ポリアミン-亜鉛錯 体の単結晶 X 線結晶構造解 析	日本薬学会第 143 年会	2023/3/25-28	市丸 嘉、加藤 紘一、小池 透、黒崎 博雅、栗原 正明
ペプチド核酸の invasion を 目指したジカチオンを持つ シトシン誘導体の合成	日本薬学会第 143 年会	2023/3/25-28	森谷 俊介、米津 実咲、近藤 有寿、 出水 庸介、栗原 正明、橘高 敦史、 杉山 亨
医薬品の使用性を評価する 対象や項目	日本人間工学会第 63 回シン ポジウム	2022年7月31日	定本清美
医薬品の適正使用に向けて 医薬品包装に求められるも の	日本人間工学会第 63 回シン ポジウム	2022年7月31日	浦裕之、定本清美
製造業者に必要とされる医 薬品評価と情報	日本人間工学会第 63 回シン ポジウム	2022年7月31日	久保田清、定本清 美
Team medical care education in Shonan University of Medical Sciences in Japan -Team medical care education which promotes health and appropriate patient care.	12th China-Japan International Symposium for Environment and Health 3th Health and Education conference	19.Novwmber 2022	Kiyomi Sadamoto
Decarbonization measure of each country which a specialistin Japan looked at	12th China-Japan International Symposium for Environment and Health 3th Health and Education conference	19.Novwmber 2022	Kiyoshi Kubota,Kiyomi Sadamoto
Pleiotropic function of PACAP: Its role in brain and peripheral organ.	VPAC ISBAP 2022	2022年11月	Seiji Shioda

演題	学会名	発表月	氏名
マウス骨格筋細胞株「in vivo	第 25 回日本アロマセラピー	2022年12月	山下 道生、柴藤
Exercise モデル」を用いた	学会学術総会		淳子、 Rakwal
精油の生理作用について			Randeep3、神崎
			展、塩田清二、
			竹ノ谷文子
ヒトのスギ・ヒノキセルエキ	第 25 回日本アロマセラピー	2022年12月	山田啓司、平林敬
ストラクトの香り暴露によ	学会学術総会		浩、山下道生、鈴
る生理作用と脳機能解析報			木菜摘、 塩田清
告			二、竹ノ谷文子
激運動後のラベンダー精油	第 25 回日本アロマセラピー	2022年12月	小林 爽花、原 香
暴露による抗疲労効果の生	学会学術総会		織、北橋 宙佳、
化学的解析			山下 道生、和田
			匡史、山本 憲志、
			塩田 清二、竹ノ
			谷 文子
マウススギ花粉誘発鼻炎様	日本薬学会 第 143 年会	2023年3月	星野 楓月、山下
症状に与える			道生、安藤 祐介、
dexamethasone 影響			笠井 菜穂子、田
			中 淑媛、牧野 春
			香、松尾 香寿美、
			山下 恵梨華、山
			田 萌恵、吉田 夏
			子、竹ノ谷 文子、
			渡辺 知恵、塩田
			清二、酒井 寛泰、
			千葉 義彦
スギ花粉症モデルマウスの	日本薬学会 第 143 年会	2023年3月	山下 恵梨華、山
鼻炎様症状に対する			下 道生、安藤 祐
Lavandula angustifolia 精油			介、笠井 菜穂子、
の効果			田中 淑媛、星野
			楓月、牧野 春香、
			松尾 香寿美、山
			田 萌恵、吉田 夏
			子、竹ノ谷 文子、
			渡辺 知恵、塩田
			清二、酒井 寛泰、
			千葉 義彦
神経ペプチド PACAP による	日本薬学会 第 143 年会	2023年3月	阿部 正太郎、山
角膜上皮の治癒作用			下 道生、柴藤 淳
			子 、 Randeep
			Rakwal、塩田 清
			二、竹ノ谷 文子

演題	学会名	発表月	氏名
香りによる新規のコンディ	日本薬学会 第 143 年会	2023年3月	原 香織、山下
ショニング法を目指した運			道、柴藤 淳子、
動後のラベンダー精油暴露			Rakwal
による抗疲労効果の検証			Randeep、千葉
			義彦、塩田 清二、
			竹ノ谷 文子
神経ペプチドPACAPによる	日本薬学会 第 143 年会	2023年3月	山下 道生、柴藤
PC12 細胞を用いた神経突起			淳子、 Rakwal
伸長作用の分子制御機構に			Randeep、平林
ついて			敬浩、千葉 義彦、
			髙﨑 一朗、塩田
			清二、竹ノ谷 文
			子
マウス花粉誘発鼻粘膜過敏	日本薬学会 第 143 年会	2023年3月	吉田 夏子、山下
性モデルの鼻粘膜組織にお			道生、安藤 祐介、
ける発現変動遺伝子の網羅			笠井 菜穂子、田
的解析			中 淑媛、星野 楓
			月、牧野 春香、
			松尾 香寿美、山
			下 恵梨華、山田
			萌恵、竹ノ谷 文
			子、渡辺 知恵、
			塩田 清二、酒井
			寛泰、千葉 義彦
Lemon grass (Cymbopogon	日本薬学会 第 143 年会	2023年3月	松尾 香寿美、山
citratus) 精油のマウススギ			下 道生、安藤 祐
花粉誘発鼻炎様症状に与え			介、笠井 菜穂子、
る影響			田中 淑媛、星野
			楓月、牧野 春香、
			山下 恵梨華、山
			田 萌恵、吉田 夏
			子、竹ノ谷 文子、
			渡辺 知恵、塩田
			清二、酒井 寛泰、
			千葉 義彦

演題	学会名	発表月	氏名
マウスを用いた鼻炎様症状評価法の確立	日本薬学会 第 143 年会	2023年3月	笠井 菜穂子、山 下 道生、安藤 祐 介、田中 淑媛、 星野 極月、牧野 春香、松恵 東 吉 文 山 萌恵、谷 恵 リ カー リ カー リ カー リ カー リ カー リ カー リ カー リ カー
マウスにおける Eucalyptus radiata 精油によるスギ花粉 誘発鼻炎様症状の抑制効果	日本薬学会 第 143 年会	2023 年 3 月	山田 萌恵、山下 道生、安藤 祐介、 笠井 菜穂子、田 中 淑媛、星野 楓 月、牧野 春香、山 下 恵梨華、吉田 夏子、渡辺 知恵、 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五
Tea tree (Melaleuca alternifolia) 精油のマウススギ花粉誘発鼻炎様症状に与える影響	日本薬学会 第 143 年会	2023 年 3 月	牧野 春香、山下 道生、安藤 祐介、 笠井 菜穂子、田 中 淑媛、星野 楓 月、松尾 香華、山 田 萌恵、吉 文年 カンツ 知恵、塩田 オンツ 知恵、塩田 清二、満寿 千葉 義彦
リン酸バッファ中における 5-フェニルヒダントインの ラセミ化機構: DFT 計算に よる再検討	日本薬学会第 143 年会	2023年3月27日	高橋央宜

演題	学会名	発表月	氏名
微生物変換による代謝経路 の解明を目指したベンジル イソキノリンの合成	日本薬学会第 143 年会	3月26日	山内貴靖、金野紗 央梨、東良優侍、 野口佳奈、大町麻 友、寺本寛明、 佐々木秀、細江智 夫、東山公男
危険ドラッグの最新海外事 情	第20回日本旅行医学会(Web 開催)	2022年5月21日	舩田正彦
フェンタニル誘導体の構造 活性相関	日本薬学会 第 140 年会(札幌)	2022年3月25日	富澤宰菊、菊川俊 太郎、有田浩暢、 中村佳代、牧野宏 章、田畑英嗣、忍 足鉄太、夏苅英 昭、舩田正彦、高 橋 秀依
シンポジウム 3-4 侵襲性真菌症の病理学的アプローチー迅速かつ正確な診断を目指してー		2022年10月	若山 恵、定本聡太
プロテオミクスによる ATL バイオマーカーの同定	第 40 回日本ヒト細胞学会	10月	須藤 遥、殿山 泰 弘、櫻田 富美子、 池辺 詠美、伊波 英克、石田 洋一
Trichosporon asahii の高接 着コロニー形態株に発現す る分子	第 66 回日本医真菌学会	2022年 10月 1日	市川智恵,池田 玲子,石橋芳雄
T 細胞分化制御活性を有す る天然化合物の解析	日本生薬学会第 68 回年会	2022年9月	小谷仁司, 矢作 忠弘, 片川和明, 原田 守
T 細胞分化制御活性を有す る天然化合物の解析	日本薬学会 第 143 年会	2023年3月	小谷 仁司, 片川 和明, 矢作 忠弘, 井上 誠, 原田 守
神奈川県における BMI および生活習慣に関する調査- 特定健康診査に基づく解析-	神奈川県公衆衛生学会	2022.10. (誌上発表)	加藤英明、曾川甲子郎
抗菌薬の処方動向から推定 する神奈川の水環境汚染に 関する調査	神奈川県公衆衛生学会	2022.11. (Web 発表)	曾川甲子郎、加藤 英明

演題	学会名	発表月	氏名
2 次元培養細胞を用いた	日本薬学会第 143 年会	2023年3月27日	佐野 和美、小野
EGFR-TKI による皮膚障害			塚 真理、寺島 朝
発症メカニズムの検討			子、加藤 裕久、
			加賀谷 肇
第 76 回医薬品相互作用研究	日本病院薬剤師会東北ブロ	2022年6月26日	工藤賢三、佐藤信
会シンポジウム ワークショ	ック第11回学術大会		範、中川直人、寺
ップ	合同開催:第 76 回医薬品相		島朝子、鈴木裕
事例から学ぶ研究の進め方	互作用研究会シンポジウム		之、大原宏司、小
			田中啓太、櫻田大
			也、小野寺隆芳
			(タスクフォー
			ス)
チーム医療の実践に向けた	第7回 日本薬学教育学会大	2022年8月20日	寺島朝子、佐野和
低学年向けチュートリアル	会		美、加藤裕久、定
演習の構築			本清美、塩田清
			二、若山恵、古屋
			博行、山崎泰広、
			市丸壽、加藤紘
			一、進藤綾大、須
			藤遥、殿山泰弘、
			石橋芳雄、加賀谷
			肇、鈴木勉
Team medical care	第12回中国国際環境と健	2022年11月19日	定本清美、中楯
education in Shonan	康学術シンポジウム及び第		奨、殿山泰弘、加
University of Medical	3回微生物生体と健康教育		賀谷肇、佐野和
Sciences in Japan -team	学術年会		美、寺島朝子、須
medical care education			藤遥、若山恵、鈴
which promotes health and			木勉、森尾裕志、
appropriate patient care.			大森圭貢、寺本明
2次元培養細胞を用いた	日本薬学会 第 143 年会(札	2023年3月27日	佐野和美、小野塚
EGFR-TKI による皮膚障害	幌)		真理、寺島朝子、
発症メカニズムの検討			加藤裕久、加賀谷
【冶入带亚冶】	夢『0 同様光されるほし、・**	2022 1	事
【学会賞受賞】	第 50 回構造活性創刊シンポ	2022.1	市丸嘉、加藤紘
エポキシドを導入したイン	ジウム		一、栗原正明、宮
ディルビン誘導体 Epox/Ind			入伸一
の抗がん活性に関する構造			
活性相関	口土本兴入竺 140 左入	2022.2	海井一声 ナム声
住環境の汚れに関するバイ	日本薬学会第 143 年会	2023.3	酒井三恵、市丸嘉
オフィルム形成抑制試験			

演題	学会名	発表月	氏名
大環状ポリアミン-亜鉛錯 体の単結晶 X 線結晶構造解 析	日本薬学会第 143 年会	2023.3	市丸嘉、加藤紘 一、小池透、黒崎 博雅、栗原正明
Asn 残基の脱アミド化にお ける C 末端側の Gly 残基と 主鎖構造の影響	第 66 回日本薬学会関東支部大会	9月17日	加藤紘一、市丸嘉、仲吉朝希、小田彰史、石川吉伸
リン酸モノエステルアニオ ン捕捉能を有する Phos-tag の結晶構造	第 66 回日本薬学会関東支部 大会	9月17日	市丸嘉、加藤紘 一、黒崎博雅、栗 原正明、小池透
Asn-Gly 配列および Asn-Ile 配列における Asn 残基脱ア ミド化の比較	第 50 回構造活性相関シンポ ジウム	11月10日	加藤紘一、仲吉朝 希、栗本英治、小 田彰史、石川吉伸
エポキシドを導入したイン ディルビン誘導体 Epox/ Ind の抗がん活性に関する 構造活性相関	第 50 回構造活性相関シンポ ジウム	11月10日	市丸嘉、加藤紘一、栗原正明、宮 入伸一
遺伝子多型がシトクロム P450 2C9の立体構造に与え る影響の分子動力学シミュ レーションによる解析	第 50 回構造活性相関シンポ ジウム	11月10日	竹下由里子、仲吉 朝希、加藤紘一、 平塚真弘、栗本英 治、小田彰史
アミロイド β において Asp 残基が二次構造変化に与え る影響について	第 50 回構造活性相関シンポジウム	11月10日	稲岡顕頌、仲吉朝 希、加藤紘一、栗 本英治、小田彰史
γ S-crystallin におけるアス パラギン残基の脱アミド化 が構造および凝集に及ぼす 影響	日本薬学会第 143 年会	3月26日	加藤紘一、仲吉朝 希、栗本英治、小 田彰史、石川吉伸
Candida albicans のバイオフィルム形成に対するリポキシゲナーゼとロイコトリエン代謝物の影響	日本薬学会第 143 年会	3月26日	山内奈菜胡、平賀 七帆、森健、梅村 拓巳、加藤紘一、 奥平正美、野々垣 常正、三鴨廣繁、 池田義明
プロテオミクスによる ATL バイオマーカーの同定	第 40 回日本ヒト細胞学会学 術集会	10月	須藤 遥,殿山 泰弘,櫻田 富美子,池辺 詠美, 伊波 英克、石田 洋一

演題	学会名	発表月	氏名
湘南医療大学におけるチーム医療教育 Team medical care education in Shonan University of Medical Sciences in Japan -Team medical care education which promotes health and appropriate patient care. (健康増進と適切な患者治療に欠かせないチーム医療の教育)	第 12 回中日国際環境と健康 学術シンポジウム 及び 第 3 回微生物生体と健康教育 学術年会	11月	定本清美、中楯 奨、殿山泰弘、加 賀谷肇、佐野和 美、寺島朝子、須 藤遥、若山恵、鈴 木勉、森尾裕志、 大森圭貢、寺本明
湘南医療大学におけるチー ム医療教育	第 12 回中日国際環境と健康 学術シンポジウム 及び 第 3 回微生物生体と健康教育学 術年会	11月19日	定本清美、中楯 獎、殿山泰弘、加 賀谷肇、佐野和 美、寺島朝子、須 藤遥、若山恵、鈴 木勉、森尾裕志、 大森圭貢、寺本明
肺炎球菌性肺炎における疾 患感受性遺伝子の同定と病 態増悪機構の解明	第 34 回微生物シンポジウム	8月	進藤綾大、梶原千 晶、舘田一博、木 村聡一郎
プロテオミクスによる ATL バイオマーカーの同定	第 40 回日本ヒト細胞学会学 術大会	2022年10月22日	須藤 遥、殿山 泰 弘、櫻田 富美子、 池辺 詠美、伊波 英克、石田 洋一
抗菌薬の処方動向から推定 する神奈川の水環境汚染に 関する調査	神奈川県公衆衛生学	2022年10月	曾川甲子郎,加 藤英明
ワークショップ 3 「コロナ禍における不妊患 者への心理支援のあり方」	第 40 回日本受精着床学会総 会・学術講演会	2022年7月29日	山﨑圭子(座長)
シンポジウム 「アフターコロナにおける 母子看護ー今・これからー」	第 21 回日本母子看護学会学 集会プログラム	2022年8月6日	山﨑圭子(座長)
コメディカル愛育賞候補演 題口演	第 63 回日本母性衛生学会総 会・学術集会	2022年9月9日	山﨑圭子(座長)
一般演題発表	第 20 回日本生殖心理学会・ 学術集会	2023年2月5日	山﨑圭子(座長)

演題	学会名	発表月	氏名
産後の母親の"疲れ過ぎ"を	LIP.横浜オープンイノベー	2023年1月25-2月8	山﨑圭子
知らせるデバイスの開発	ションカンファレンスⅧ ク	日	
	ロスイノベーションカンフ		
	アレンス 2023		
-1 歳から生活習慣病を守る	LIP.横浜オープンイノベー	2023年1月25-2月8	山﨑圭子
アプリの開発	ションカンファレンスⅧ ク	日	
	ロスイノベーションカンフ		
	アレンス 2023		
宿泊型産後ケアにおいて助	第 24 回日本母性看護学会学	2022年6月26日	青島恵美子、島袋
産師が提供すべきケア	術集会		香子
一助産師のケアの構成要素			
の抽出一			
医療系大学における新型コ	第 11 回日本公衆衛生看護学	2022年12月	望月聡一郎、山崎
ロナウイルス感染対策に関	会学術集会		真帆ほか
する学生の意識等調査(続			
報)			
ワークショップ「集まろう、	第 11 回日本公衆衛生看護学	2022年12月	鈴木純子、山崎真
つながろう、話そう、今日か	会学術集会		帆ほか
ら活かせる教育実践のあれ			
これ」			
スフェロイドサイズが間葉	第 37 回日本整形外科学会基	2022年10月	黒田 晃義, 内田
系幹細胞の栄養因子発現に	礎学術集会		健太郎, 峰尾 歩,
及ぼす影響の検討			庄司 真太郎, 関
			口 裕之,齋藤
			亘, 井上 玄, 高
			相 晶士
局所硬化ゲルを用いた人工	第 37 回日本整形外科学会基	2022年10月	齋藤 広樹, 内田
骨への BMP-2 導入法を用い	礎学術集会		健太郎, 黒田 晃
た難治性骨折治療法の有用			義, 庄司 真太郎,
性に関する検討			宮城 正行, 齋藤
			亘, 関口 裕之,
			井上 玄,高相
			晶士.
Chronic constriction	第 37 回日本整形外科学会基	2022年10月	向井 務晃, 内田
injury(CCI)モデルに対する	礎学術集会		健太郎, 井上 玄,
除圧術に減少する T 細胞サ			宮城 正行,横関
ブセットの検討			雄司,廣澤 直也,
			松浦 佑介, 大鳥
			精司,高相 晶士

演題	学会名	発表月	氏名
高コレステロール血症患者	第 37 回日本整形外科学会基	2022年10月	内田 健太郎, 見
では肩関節内滑膜組織にお	礎学術集会		目 智紀,田澤
ける ADATMS5、MMP-1の			諒,松本 光圭,
発現が亢進している			井上 宏介, 石井
			大輔, 大貫 裕子,
			井上 玄,高相
			晶士.
変形性膝関節症患者の滑膜	第 37 回日本整形外科学会基	2022年10月	宗重 響子, 内田
マクロファージの極性化に	礎学術集会		健太郎, 高野 昇
対するβ2-ミクログロブリ			太郎,迎 学,高
ンの与える影響.			田 研,関口 裕
			之,大貫 裕子,
			相川 淳,岩瀬
			大, 井上 玄, 高
			相 晶士.
滑膜線維芽細胞由来 Peptide	第 37 回日本整形外科学会基	2022年10月	迎 学, 内田 健
Lv はマクロファージの	礎学術集会		太郎,相川 淳,
polarization を制御している.			高野 昇太郎, 高
			田 研,岩瀬 大,
			大貫 裕子, 宮城
			正行,井上 玄,
			高相 晶士
透析患者の滑膜下結合組織	第 37 回日本整形外科学会基	2022年10月	宗重 響子, 内田
におけるコラーゲン発現上	礎学術集会		健太郎, 小沼 賢
昇とβ2-microglobulin によ			治,助川 浩士,
る発現制御の検討			大竹 悠哉, 目時
			有希恵, 関口 裕
			之,大貫 裕子,
			井上 玄,高相
			晶士.
第 37 回日本整形外科学会基	第 37 回日本整形外科学会基	2022年10月	塚田亜裕美、内田
礎学術集会, 宮崎, 2022	礎学術集会		健太郎、高野昇太
			郎、相川淳、岩
			瀬大、高田
			研、迎学、大貫
			裕子、井上玄、
			高相晶士.
スフェロイドサイズが間葉	第 37 回日本整形外科学会基	2022年10月	黒田 晃義, 内田
系幹細胞の栄養因子発現に	礎学術集会		健太郎, 峰尾 歩,
及ぼす影響の検討			庄司 真太郎, 関
			口 裕之,齋藤
			亘, 井上 玄, 高

演題	学会名	発表月	氏名
			相 晶士
局所硬化ゲルを用いた人工	第 37 回日本整形外科学会基	2022年10月	齋藤 広樹, 内田
骨への BMP-2 導入法を用い	礎学術集会		健太郎, 黒田 晃
た難治性骨折治療法の有用			義, 庄司 真太郎,
性に関する検討			宮城 正行, 齋藤
			亘, 関口 裕之,
			井上 玄,高相
承以中央。22世 子体人如傚		0000 5 10 0	晶土.
透析患者の滑膜下結合組織におけるコラーゲン発現上	第 37 回日本整形外科学会基	2022年10月	宗重 響子, 内田
におりるコノーケン無塊上 昇とβ2-microglobulin によ	礎学術集会		健太郎,小沼賢 治,助川 浩士,
デモタZ-inicroglobulin によ る発現制御の検討			大竹 悠哉, 目時
2)0.00141PL > 10(11)			有希恵, 関口 裕
			之,大貫 裕子,
			井上 玄,高相
			晶士.
Usability study of alminum	IAPRI 23th world packaging	2022年6月	Sadamoto, K.,
pouch of PTP(Press	conference proceeding		Ura, H., Kubota,
Through Package) among			K.
patients and pharmacists.			
Decarbonization measure of	第 12 回中日国際環境と健康	2022年11月	Kiyoshi, K.,
each country which a	学術シンポジウム		Shimada, M.,
specialist in Japan looked at.			Yoshikawa, H.,
			Sadamoto, K., Ura, H.
認知症との折り合い方	第14回都筑区認知症フォ	9月、2022	石井映幸
PENTINE C 971/1 9 ET V 7/1	ーラム (神奈川)	7)1, 2022	4万·火干
認知症の理解を深めるため	令和4年度港北区認知症講	11月、2022	石井映幸
に伝えたいこと	演会(神奈川)		
消化器外科医に多様性は必	第 77 回日本消化器外科学会	2022.7	中山祐次郎
要か?一般市民アンケートと	総会		
自験例からみたダブルキャ			
リアの実現可能性			